

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス COLLE COLOR		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 29日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42家庭	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年 1月 29日		2026年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の専門性	・言語聴覚士や保育士、教諭免許所持者等、専門的スキルを持つ支援員の日々の支援や関わりから得られた見立て等を情報交換を通じて積み重ねることで、一人一人に応じた支援の提供ができるように努めている。	・より支援に専念できるよう、ニーズの取りこぼし軽減や統一した支援ができるよう、ICT化や標準化されたマニュアルを作成することで業務の効率化を行う。 ・事業所内に専門書籍が豊富にあるのでそれらを活用し、計画的に研修も行いながらスタッフ一人一人が自己研鑽に努めていく。
2	子どもを中心とした関係機関とのつながりやすさ	自立支援協議会の一員として地域課題も踏まえながら、各学校や相談支援事業所、その他関係機関と会議や研修を通じて日々連携を密にとることができるよう努めている。	ニーズの取りこぼしの無いように、ご家庭へ事業所からの発信の機会を増やすとともに、関係機関との連携がより充実したものとなるよう、日々の関わりのコミュニケーションを大切にすることを事業所全職員留意していく。
3	ご家庭への支援	ご利用者毎のニーズに応じた支援を幅広く行えるよう、随時職員間のコミュニケーションを密にし、子どもたち、ご家庭からの声を傾聴しています。	いかなる場面においても事業所の全スタッフが均一した支援ができるように、インクルージョンの視点や個別のニーズを踏まえた対応の統一を行うための手段を整備する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の持ち物の忘れ物が多いところ	スタッフの入れ替わりも要因の一つでもあるが、全職員の意識統一を行い、対応の標準化を行う。	事業所スタッフがより連携をとり、受け入れ、送り出し時の忘れ物軽減に対しての声かけを統一することを意識し徹底する。
2	送迎時間が前後しやすいところ	日々お子様毎の状況に合わせ、臨機応変に対応しているため	事前に時間の余裕を持てる体制をさらに整備する必要がある
3	連絡機能の低さ	事業所からの発信の機会を増やすことができる体制を整える必要がある	事業所からの発信の機会を増やすことができる体制を整える必要がある

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス COLLE COLOR
------	------------------------

公表日 2026年2月25日

利用児童数 50

回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1		3	・子どもがのびのび通所出来てそうなので環境や体制整備は良いと感じますし、スタッフさんも優しく丁寧だと子どもから聞いています。	引き続き支援の研鑽に努めて参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	3		6		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2		4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	2		2		
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	3			・支援は細かく個人の特性を見てくれると思います。	ご利用者様のニーズをの取りこぼしの無いよう、引き続き研鑽に努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1		1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1			・お世話になって7年目になります。こんな大変なお仕事にも関わらず、子、本人だけでなく親も助けていただいています。いつも細かな支援をありがとうございます。	全スタッフが統一した支援を提供できるよう、引き続きチームでの支援のニーズ収集に取り組みます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	2		1	・子どもが無理なく通所でできているので特に問題はないですが、他の子どもとの活動などは本人がどのように対応したら良いかが分からないこともあるようで待ちの姿勢が多いかと思えます。最近はデイでお友達とコミュニケーションが取れているようで安心と嬉しく感じています。	インクルージョンの視点を踏まえ、主体的に集団参加できるよう、ご本人のペースを尊重しながらスモールステップで活動等参加できるよう引き続き支援を行っています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	2		1	・食育のメニューが毎回工夫されていて、バランスも良く子どももとても楽しんでます。	土日祝日のイベントだけでなく、平日の支援プログラムにつきましても、学校の宿題との兼ね合いも鑑みながら、引き続き一人一人に応じた支援プログラムを日々積み重ね提供して参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	3	4	8	11は不要と考えています	お子様や保護者様のニーズに沿いながら実施の検討を行いたいと思います。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	3	4	8		見学・契約時に丁寧に説明できるよう心がけます。契約時の利用者負担額の説明は受給者証のご家庭個別の状況も踏まえ、割愛することもございます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	2		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13			5		ご家庭のニーズに沿いながら今後も実施の検討を行いたいと考えております。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	2				送迎時やリトム（連絡帳）、SNSアプリ等でも引き続き情報交換に努め、二重の取りこぼしのないよう努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	3		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	2		1	いつも子どもに寄り添った支援をしていただきありがとうございます。	全スタッフが統一した支援を引き続き行えるよう力を合わせて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	3	7		北区地域の諸関係団体様方との連携を密にし、地域でお子様へのびのびと過ごせるよう尽力いたします。 ご家庭毎のニーズに応じて、きょうだい同士の交流の機会の検討を引き続きお行います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1		3		ご契約時に説明を行うとともに、ご家庭からのご質問、ご要望についてはお申入れがあり次第、迅速に対応することを職員一同努めております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	2		1		口頭言語でのコミュニケーションが難しいお子様方への支援についても特に留意し、日々のご様子をよりわかりやすく伝えられるよう努めております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	2		5		新年度はより発信を増やしていけるよう努めて参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			10		周知に努めて参ります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			9		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1		7	娘は大きな音が苦手なので非常事態に動けるのかは不安があります。	想定外のことを想定内とできるよう、計画的な事業所での訓練を通じてお子様毎に非常時の対応ができるよう努めて参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2		4		怪我や体調不良等が発生次第、ご家庭へ連絡を行い連携をとりながら対応にあたっております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	2		1		ご利用される皆様が安全で安心して過ごせる事業所となるよう引き続きチーム一丸となって支援に努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16		2		・子どもが無理なく、嫌がることなく通所できていること。通所頻度が少ない中でも通えば通うほど楽しかったの声が子どもからあります。宿題も頑張ってきてくれるし、スムーズに時間を過ごせているのはスタッフさんや環境、対応が行き届いているのかなと感じます。ただ連絡帳が返ってこない時があり少し不安に感じるときはあります。	お子様やご家庭からの声の取りこぼしのないよう、日々の関わりを大切に支援して参ります。連絡帳につきましては今後ICT化を検討すると共に、忘れ物の無いよう努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	3				

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス COLLE COLOR		公表日		2026年 2月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	当日欠員が出た際の対応の統一を明確化した。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	玄関の段差やエレベータ工事等では直接介助を行う	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		静養、学習、食事の際など、子どものニーズに応じて随時配慮するとともに、室内を構造上あえて死角を作ることで、子供だけの空間を意図的に作り安心して事業所で過ごせるように配慮している。	左記のためにスタッフが常に事業所の空間全体を意識できるよう研鑽する
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	終礼の徹底や記録の強化を3月より行うよう体制を整えている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		常日頃から評価表を意識し、業務改善に努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		常日頃からコミュニケーションを密にとるよう努められている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	自立支援協議会に参画し、関係機関からのご意見をもとに支援の改善を行なっている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		今年度新たに研修計画を立て、計画的に研修を行い支援の専門性を高められるよう実施していく	
通	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		個別支援計画だけでなく、スタッフ一人一人の専門的な意見をヒアリングし、利用者主体の支援となるよう努めている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		店舗独自の情報記録アプリを用い、日々の支援や気になる点などを共有している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		インクルージョンの視点に基づき、地域に移行できるよう、そのスキルを高められるよう日々支援にあたっている。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	職員が統一した支援プログラムを提供できるよう、プログラムの見直し、改善を行っている。	標準化されたマニュアルを用い、今後皆で支援プログラムを計画できるよう行う
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		一人一人の特性にも配慮しつつ、本人の声を聞きながら個別・集団ともに無理なく参加できるよう支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	職員が統一した支援を提供できるよう、密なコミュニケーションを図る	学校の長期休暇中などは前日の終礼等で今後行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		日々の振り返りや、前日の振り返りを常日頃から職員間で情報共有ができています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		平日、土日祝日ともにご本人が時間を意識しながら主体的・計画的に事業所で過ごせるよう構造化し支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		ご家庭や児童のニーズに応じ、随時連携をとることができるよう努める。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	イレギュラーが生じた際の対応を全スタッフが統一して行えるよう、広く連携を行えるよう改善した。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	併設する2階の児童発達支援事業所のスタッフと随時連携をとり、常日頃からの情報共有に努めている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	ニーズに応じて関係機関と連携をとり、情報収集に努めた。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		区域において、児童発達支援センターとの交流の機会が非常に稀である為、接点を作りたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		保護者様からニーズにそぐわないことがあり、実施の検討は未定。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	北区地域自立支援協議会の委員として積極的に参画している。	管理者だけでなく、スタッフが自立支援協議会に参画できるよう、引き続き研修等の案内を行う。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		対面や連絡帳で常日頃からコミュニケーションを密にとるよう努めている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		集団だけでなく個別のペアレント・トレーニングも実施した。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		がけた。契約時の利用者負担額の説明については詳細の説明は受給者証の内容についてご家庭個別の事情等もあり、説明しかねる部分	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		自立支援協議会にて有志の会を開き、父母の会等と継続して広く交流できるようその機会を作った。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	2		来年度はより発信の機会を増やせるよう役割分担を行う。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		前年度は防災講座や防犯講座を北区の外部団体をお招きしたが本年度は未実施。新年度は実施したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				

公表	保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表
----	------------------------

○事業所名	放課後等デイサービス COLLE COLOR		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 29日		～ 2026年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年 1月 29日		～ 2026年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 29日		～ 2026年 2月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さま、ご家庭のニーズの反映	ご家庭と密な情報共有等のコミュニケーションを行うことで、ご本人がギャップを感じることなく日々の生活を円滑に過ごせるよう支援を行った。	左記を継続すること
2	お子様の変化する状況に沿った支援	お子様の日々変化する状況等を踏まえ、臨機応変に支援を行うよう心がけた。	一貫した支援を行えるよう、訪問先施設との情報共有を密にする
3	密な情報共有	記録用紙を元に、日常生活場面や事業所での様子等に応じてどのように反映すべきかをご家庭へフィードバックすることを尊重した。	一貫した支援を行えるよう、訪問先施設との情報共有を密にする

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先施設との密な情報交換	訪問先施設へのヒアリング不足	学校への初回訪問時の学校側のアセスメントを密に行うこと
2	訪問先施設との会議	双方の会議を行うことが無かった	事業所からの提案で会議を行うこと
3	訪問先施設との日常的な連携	訪問先施設への日常的な情報発信不足	こまめな連絡や相談を日常的に訪問先施設と連絡を事業所側から発信したい

公表 保護者からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス COLLE COLOR

公表日 2026年 2月 25日

利用児童数 8

回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2			1		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2			1		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2			1		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2	1				
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	2			1		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2			1		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2			1		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	1		1		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2			1		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2		1			
	15 必要などきにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2			1		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1		1	1		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2	1				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1			2		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2			1		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2			1		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3					
	28	事業所の支援に満足していますか。	3				保育所等訪問のおかげで、不登校が改善されました	

公表 訪問先施設からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス COLLE COLOR		2026年 2月 25日				
		利用児童数			回収数3	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。		3			
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。		3			
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。		3			
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。		2	1		訪問先との連携を取れる体制を整えて参ります。
5	事業所からの支援に満足していますか。		2	1		訪問先との連携を取れる体制を整えて参ります。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
ただ教員の動きと児童の動きを見学、記録させていただき感じます。連絡帳に書いていることを記録し、保護者に報告、学校にも送られていましたが、保護者には学校からとコレカラさんから同じ報告を二重に行い、学校はなぜか自分たちが行った支援を文字化して読まれ、必要性を感じない訪問支援でした。特に質問をいただくこともなく、学校でも特に困っていることがないため質問させていただくこともなく、何かを共有できた良いものだったとは感じていません。				・ご家庭からのアセスメントやご要望を最優先し、記録用紙を通じて日々の事業所での支援への反映や対面でのご家庭への密な支援の情報共有に努めておりました。そのため、訪問先施設からのご意見はご尤もでございます。一方で事業所と訪問先施設様との連携はご指摘通りまだまだ至っていないかとことを真摯に受け止め、お子様を中心とした支援となるよう引き続き留意して参ります。		

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス COLLE COLOR		公表日		2026年 2月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 ・ 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	7	3	標準化されたマニュアルが必要	統一した支援ができるよう 標準化されたマニュアルを作成する	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1			
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3		訪問先施設のご意見を真摯に受け止め、 反映すること	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	2		新年度計画的に専門分野別の研修を企画。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	10				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	10				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	10				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2		日々の終礼や情報交換、役割分担の明確化を行っていく。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	10				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	10					

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7	3	管理者等により研修の案内を継続し共有する	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	3	管理者主体で積極的に参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	10			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	10			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	10			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8	2		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	2		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	9	1		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	9	1		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	10			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	9	1		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10			